

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

スポーツの推進については、スポーツ施設が一定整備されたことや、世界規模大会のオリンピックやラグビーワールドカップの開催に伴い、市民のスポーツに対する関心や期待は一層高まっています。

これまで同様にスポーツ施設の有効利用なども見据えながら、当市の自然環境や世界遺産登録である「橋野鉄鉱山」をはじめとする歴史・文化などを素材として取り入れることで「スポーツ資源」と「観光資源」の融合を図り、スポーツ合宿の発展的な誘致活動を行い交流人口の拡大や地域経済への波及効果など、新たな地域の価値を創出する「スポーツツーリズム」の推進に引き続き取り組みます。

令和2年からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種スポーツイベントが中止となっておりましたが、令和5年度には感染が減少したことにより5類感染症へ変更されたことにより各種スポーツイベントが再開できる環境となっております。今後は感染拡大防止策を講じるなど、安心に参加できる環境を整えながら、各種イベントを実施してまいります。

また、コロナ禍により市民のスポーツに対する環境も変化していることから、安心・安全・健康な生活環境を整える必要性があり、釜石市スポーツ推進委員協議会、釜石市体育協会等の協力を得て、誰もが取り組めるニュースポーツや軽運動の普及に努めながら、子どもから高齢者までの運動する機会の提供とともに、運動を通じたコミュニティづくりを推進します。

競技スポーツについては、釜石シーウェイブスラグビーフットボールクラブをはじめ関係団体との連携を強化し、「ラグビーのまち」として更なるラグビーの振興を図るとともに、各種スポーツ団体や釜石市体育協会などと連携し、各競技の選手強化と育成に努めます。

また、将来的な競技スポーツの振興も視野に、人口減少・少子化によって団体が減少しているスポーツ少年団などの活動も支援します。

2. 重点目標

- (1) 市民の運動不足解消や健康増進のため、幅広くスポーツに親しむことができるような動機づけや機会の創出を図る。
- (2) 市全体や県レベルのイベントを開催して交流を促進すると同時に、市民に希望をもたらし復興や地域の光となるような大規模スポーツ大会の開催に取り組む。
- (3) 震災からの復興の過程の中、次代を担う子どもたちが生涯にわたってスポーツに親しみ、また幼保、小、中、高とスムーズに接続することで、心身の基礎づくりや体力・運動機能の向上を目指す。
- (4) 体育施設の復旧を推進し、いつでも、どこでも、誰もが、健康に暮らせるまちづくりに努める。
- (5) 体育施設の利活用を念頭に、施設・自然・観光を素材とした交流人口の増加を図る。
- (6) 中学校部活動の休日地域移行へ、関係機関と協力体制を構築し推進する。

Ⅱ スポーツ推進課 事業計画概要

1. 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
市民スポーツの振興	友好都市(東海市・袋井市)ラグビー交流事業	姉妹都市の愛知県東海市や静岡県袋井市の児童とラグビー交流を開催することで、相互の交流と親睦を深める。	1年おきに開催地を入れ替えながら、2年1種目を原則とした交流試合の開催に対する補助金を交付。 R5年度は、当市においてラグビー競技を種目として、東海市との交流を実施。 〔時期〕9月16日(土)～18日(月) 〔場所〕釜石鶴住居復興スタジアム うのすまイトモス 他 〔対象〕東海市、当市の小学生 〔参加〕150名(関係者含む)
	【成果と課題】 当初、袋井市も含めた3市の児童交流を予定していたが、都合により不参加となり東海市当市のラグビーを通じた交流事業となった。東海市より約30名の参加の他当市から約90名の参加と多くの児童でスポーツを素材とした交流が図られた。		
将来を担う人材の育成	ラグビーによる人材育成事業	ラグビーという地域資源を活用し、将来を担う人材を育成するとともに、競技の普及促進を図る。	児童・生徒らを対象としたラグビー教室の開催。 〔時期〕通年 〔会場〕市内体育施設・各校/園内 〔実施回数〕12回 〔実施校数〕4校1園 〔参加〕700名 〔実施場所〕釜石鶴住居復興スタジアム 市民体育館/学校内
	【成果と課題】 今年度は日本製鉄釜石シーウェイブスと市内学校を分担して実施。 11月の市内タグラグビー大会を目標に多くの生徒に参加していただき、今年度は座学も実施。 釜石ラグビーに触れ合う機会を設けることができ一定の成果を得ることができた。 今後は協議普及促進につなげられるよう、より一層の促進をかける必要がある。		

2. 成人期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第14回かまいし仙人峠マラソン大会	仙人峠の地理的特徴を活用した、箱根駅伝に匹敵する難関マラソン大会の開催により、甲西地区のにぎわい創出やスポーツによる活性化を図る。	これまでは、全国から募集をし、前夜祭も含み盛大に実施していたが、コロナ禍により県内在住の方のみを対象として大会規模を若干縮小し開催予定。 〔時期〕10月29日(日) 〔場所〕旧釜石鉱山事務所周辺 〔コース〕峠コース(10Km) 〔部門〕男女年齢別11部門 〔対象〕大会当日満16歳以上の男女 〔参加〕243名
	【成果と課題】 コロナ禍により、開始可否判断が遅れたことによる周知期間不足や、コース削減により例年ほどの参加者数は確保できなかったが、走者の満足度、完走率も高い大会となった。参加者増に向けた新たな工夫が必要となる。		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
市民スポーツの振興	富山県朝日町ビーチボール交流事業	友好都市である富山県朝日町で開催される「全国ビーチボール競技大会」に釜石市からチームを派遣し、スポーツを通じての相互の交流と親睦を深める。	友好都市である富山県朝日町で開催される「全国ビーチボール競技大会」に釜石市からチームを派遣し、スポーツを通じての相互の交流と親睦を深める。 〔時 期〕 9月9日(土)～10日(日) 〔場 所〕 朝日町文化体育センター サンリーナ 〔大会名〕 第40回全国ビーチボール競技大会 〔参 加〕 3チーム 12名
			【成果と課題】 4年ぶりとなる、大会に当市からは3チームの計12名が参加した。1チームは予選を通過したものの惜しくも初戦敗退となってしまった。 朝日町との現在の交流はビーチボール競技が主となっているものの、市内での競技人口が年々減少しつつある。協会に協力し普及することが課題となる。

3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第49回釜石健康マラソン大会	スポーツに親しむ機会の創出と、健康増進の意識向上を図る。	市民参加型年齢別のマラソン大会を開催する。 〔時期〕 10月7日(土) 〔場所〕 釜石鶉住居復興スタジアム 〔種目〕 ①マラソン：5km、3km、2km、1km、400m(幼児の部) ②リレー：100m×4ほか 〔部門〕 男女年齢別15部門 〔対象〕 参加希望者(年齢・性別等不問) 〔参加〕 300名
			【成果と課題】 根浜海岸沿いを走るコースや種目の追加(5km)など新たなコースを設定し開催した。参加者の減少傾向が続くなか、市外県外からの参加者の増やコロナが落ち着いたこと等により前回より約100名の増となった。 今後、少子高齢化が進むなか、参加者増に向けた工夫が必要となる。
	ラグビーメモリアルイベント開催事業	ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー継承と、「ラグビーのまち釜石」の定着及び情報発信を行う。	1. 釜石絆の日開催事業 RWC2019が開催された9月25日を「釜石絆の日」として定め、毎年この付近の土日にも子どもから大人までが楽しめる、ラグビーの交流イベントなどを開催する。 (1)時期 9月16日(土)～17日(日) (2)場所 釜石鶉住居復興スタジアム 2. ラグビビッグドリーム事業 釜石シーウェイブスRFCと友好チームとのメモリアルマッチを中心としたイベントを開催、2021年からはRWC2019で中止となったナミビア対カナダ戦の再戦招致の願いを込めた要素も盛り込んで開催しているもの。 (1)時期 10月8日(日) (2)場所 釜石鶉住居復興スタジアム
			【成果と課題】 成果としては、9月16-17日開催の釜石絆の日では、静岡ブルーレヴズとそのス

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			<p>クールチーム(小学生)をお招きして、釜石 SW との記念試合を開催したほか、釜石まんぷくフェスと併催したことで、2日間で約 4000 名の来場者を数える事となり、多くの方に釜石ラグビーの特別空間を楽しんでいただいた。</p> <p>また、10月8日開催のラグビィグドリーム～RWC MEMORIAL～では、メモリアルマッチとしてリコーブラックラムズ東京をお招きして、釜石 SW との交流試合を開催するほか、震災復興支援働く自動車展やうのスタフードコーナーや体験コーナーの併催により、約 1200 名の来場者にメモリアルのイベント開催を楽しんでいただいたもの。</p> <p>課題としては、ラグビィグドリームを有料試合としているが、有料試合とすることでチケット販売に係る多くの経費が必要となる一方、チケット販売収入も思うように伸びないことで、今後の有料試合のあり方について、関係者と共に考えを整理する必要がある。</p>
市民スポーツの振興	<p>スポーツ教室による高齢者等健康支援事業 (健康づくりによる復興コミュニティ形成支援事業)</p>	<p>ニュースポーツや軽体操など、高齢者を中心に誰でもできる運動を指導することにより、市民の身体健康維持増進と、ストレスの軽減や、生きがいづくりへの支援、ひきこもりの防止など、こころの健康維持増進を図る。</p>	<p>市民の健康増進、健康長寿を目的に運動体力維持活動支援策としてニュースポーツ等を取り入れた健康教室を講師を各地域に派遣し事業を実施する。</p> <p>〔時期〕 通年 〔場所〕 復興住宅・各地区公民館ほか 〔対象〕 地域住民 〔実施〕 357回 ※1月現在 〔参加〕 3,942名 ※1月現在</p>
			<p>【成果と課題】 令和3年度から高齢介護福祉課の協力により事業を実施している。新しい生活様式を取り入れて各地区で勢力的に事業を展開しており、市民からはスポーツを通じた健康づくりに理解を得ていると思われる。体を動かすことでの健康維持増進の他、コミュニティ形成やメンタル面からの健康増進へのアプローチが今後の課題。</p>
	<p>第5回釜石市公民館対抗ニュースポーツ交流大会</p>	<p>ニュースポーツを通じて市民の健康維持増進への関心を高めてもらうことや、他地域との交流の場を創出するもの。</p>	<p>市民へのニュースポーツ普及や健康増進を推進することを目的として、8地区公民館対抗でのニュースポーツの大会を開催。</p> <p>【内容】 1地区公民館から20名程度でチームを構成し4種目のニュースポーツ対抗戦を行い、交流と親睦を深める。</p> <p>〔時期〕 12月2日(土) 〔場所〕 市民体育館 〔参加〕 131名 〔結果〕 優勝-鶴住居 準優勝-甲子 第3位-小佐野</p>
			<p>【成果と課題】 5度目の大会であったが、コロナ禍の関係で実質3度目の大会となった。今回より新たなメニュー(ポッチャ)を加えたが、参加者からは比較的好評だったと思える。しかしながら、まだ回数が浅い大会であり反省点もあることから、見直しをしながら次の大会に繋げたい。</p>

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
関係団体との連携	釜石市体育協会補助金助成事業	市内各競技団体及びスポーツ少年団本部を通じての、競技団体の連携による活動の活性化を図る。	釜石市体育協会の運営支援として事業費及び人件費等を補助する。
	<p>【成果と課題】</p> <p>コロナ禍を経て、スポーツ界も大きな転換期を向けかえる中、各競技団体及びスポーツ少年団の中心として事業を展開した。例年同様、体育協会主催による釜石体育賞も開催（予定）し、市民のスポーツへの意欲向上を図った。</p> <p>中学校部活動の地域移行等、今後体育協会の活躍が期待されることから、さらなる組織強化が課題。</p>		
	各種スポーツ団体大会等助成事業	県大会規模以上のスポーツ大会の誘致を促進して交流人口の拡大を図る。また、全国で行われるスポーツ大会に参加し釜石市のPRと市民のスポーツ向上に寄与する。	釜石市体育協会及び釜石市体育協会への加盟団体、大会実行委員会、各種競技団体が行うスポーツ大会に要する経費に対し、補助金を交付する。 <p>〔主な事業〕</p> <p>①釜石はまゆりトリアスロン国際大会 9月初旬開催予定だったが中止</p> <p>②釜石オープンウォータースイミング大会 7月30日(日)開催実施 250名参加</p>
<p>【成果と課題】</p> <p>釜石トリアスロン大会は、組織体制が新たになったものの、大会準備に間に合わず中止となった。釜石 OWS は予定通り開催され、年々参加者が増となり今回は250名の参加があった。大会も天候に恵まれ成功裏に終わることができた。</p> <p>その他9件の大会開催及び参加団体に対し補助を行い、当市PRと市民のスポーツ意欲向上に寄与した。</p>			
スポーツ情報の提供	スポーツ情報提供事業	スポーツに関する情報発信を行うことで、各種事業の参加拡大や生涯スポーツへのきっかけづくりを図る。	市ホームページへの記事掲載、体育施設等への掲示、各種催事の報道機関への情報提供等を行う。 <p>〔時期〕 通年</p> <p>〔対象〕 一般市民ほか</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>市内スポーツ施設にかかる各種イベント情報や大会情報については、各施設での掲示物のほか、市の広報やHP、関係 SNS により随時情報発信を行っているものの、世代により情報収集の手法がそれぞれ違うため、紙媒体からインターネットと、幅広い手法で情報発信することが必要である。</p> <p>近年のコロナ禍による屋外での活動制限により、当市ではインターネットを活用したHPでの情報発信や、YouTube を活用したラグビー試合のライブ配信なども推進しており、YouTube による動画投稿については、年間数万円程度の広告料収入を得るまでに、チャンネル登録者数も年々増加しているもの。</p>		